

北浦村報

所行發
楊役村浦北
人發行
之裏家真
所刷印
事人城茨
社來往

北浦村誕生を祝して

北浦村長 真家 襄之



眞家村長

昭和三十年四月一日行北の一角から衆知を集めた賊にこの地にふに誕生した吾が北浦村は随分と生みのなやみはあつたが、健かなる聲を挙げ生長を續けているのは、ますが、名実共に生々發展する為には今後に期待するものが多いと存じます。新村發足にあつては各位の変な協力の賜と深く感謝

合併協議會、地区調査會の皆様の
御協力を蒙り、協議會の決議した
五ヶ年計画圖書に企
て新刊北浦村の前途を祝し御挨拶
を申し上げます。物心両面に亘り相
協し、明朗な村造りが出来ます様
をお願いいたします。

◎昭和三十年度歳入歳出予算について

日筈足に伴ひ四、五、六月に村議会協議会を招集本予算案の昭和三十年度北浦村歳入歳出予算案の暫定予算七旦九十五円内开会を開催二十二日本会議を開き審議期間において二十六日再開を編成し新村日筈足後の運営にき審議期間において二十六日再開で支障なきを期し六月二十日慎重審議の結果可決確定になった

● ●
新村の予算について
● ●

昭和三十年度予算の編成方針と村財政の見通し

健全財政再建のため単年度におき、已財源も町村合併により合理化せる赤字を生じしめぬ立前のもことた人件費を始め一般消費的経費に税金収入の確保はかり旧村よりの節約により充当することができ引継いだ実質赤字額二百五十万円ました。今後の見通しとして、の解消につとめ北浦村充足に伴うは、予算総額に対し一三%弱の割三十年度新村建設事業の予算化を合を占める国に対する依存財源はかり庁舎建設、武田中学校増築一兆円のわくにおさえられている道路改修等投資的経費に対する日国の財政計画にも無理があるので

そのしわよせにより合併促進法にもとづく村の起債もその見込額を相当下廻ることが予想され年度の中途において財政上の面から計画変更を余儀なくされる状態であります。

昭和三十年度北浦村歳入歳出予算

歲入

科 目	予 算 額	割 合
一 村 税	一九、九四八	五一、一
A 普 通 税	一九、九〇八	五一、一
イ 村 民 税	三、〇八三	七、九
ロ 固 定 資 産 税	一三、二二三	三三、九
ハ 自 転 車 荷 車 税	一、四二六	三、七
ニ た ば こ 消 費 税	一、五六〇	四、〇
ホ 電 氣 ガ ス 税	五七六	一、五

御
挨
撈

議會議長

齋藤操

地方自治団体に対する画期的国策に依る全国町村合併の線に沿つて吾北浦村も四月一日を以て目出度誕生ここにその祝賀会を催さるるに至つた事は全く御同慶の次第であります。

顧みれば武田部会関係四ヶ村合併の詔が持上つてから殆どまで約一年未だそういう訳には参りません。村は合併に当り五ヶ年計画を以て新らしい村造りの目安を構へたがすべて先立つものは金、本年はその第一年目で漸くその緒に就いたばかりです。前に述べました村民の福利増進施設のため村は年々相当額の支出を必要とし更にこの金

要するに新粒の育成につきては一人当り一、六一六円となりますが、蔵出の面から見ると、教育費において小中学校の児童生徒二、六九一人について一人当り三、五五三円の費用が必要であるというような状態でありますから北浦村が他町村に比し優秀な発展を遂げられるよう納税の面について特段

北浦村議會議員

られるよう納税の面について特段

男庭賢衛	小林光寿	本沢仁	勢司治雄	高正武雄	東野喜一	梶山勇	矢口正知	山口昇	池田政	下河辺繁三郎	副議長	議長
稻田光隆	森崎正	勢司辰造	堀伊三郎	金井均	斎藤斎	内田鶴寿	助川正一	小沢、亀吉	仲唐、尾	須賀、光尾	根本行道	斎藤操

村民負担の

狀況について

三十年度予算概算収入一九九四八千三百圓は一世帯当り九、四九五円人口一人当り一、六二六円となります。費が、歳出の面から見ますと、教育費において小中学校の児童生徒二、六九一人について一人当り三、五五三円の費用が必要であるというような状態でありますから北浦村が他町村に比し優秀な発展を遂げられるよう納税の面について特段の御協力をお願いいたします。歳出の面では行政費事業費等が人口一人当りどの位の割合を占めているかと、又関係計数に対してはどうか御参考までに次の表を御覧願います。



教育關係

本年四月一日町村合併によつて「北浦村」発足以来ようやく敬福委員会もお陰様で軌道に乗つて調な歩みになつて参りました。本年度の教育運営方針については、前年度の通り定めましたが、格別の細信

会 E.T.A.等にも人材を一新して、同時に北浦社会の発展を図るため、いよいよ教育の充実を期すべきである。その目的を實現するには、祖國の現状を究めると共に地域社会の要望に応じ、飽くまでも児童生徒の福祉のため実践教育運営に邁進しなければならない。

科 目	予算額	関 係 対 数	人口二三四〇 巴人当り
一、體會費	七、一〇〇千円	職員数 四四〇	五七円
二、役場費	一五、三〇〇	職員数四五人	一、二三九円
三、消防費	六三〇	団員九〇〇人	五・一円
四、土木費	二、二五〇	道路面積一四一六、三二〇	一八二円
五、教育費	九、五六二	児童生徒数二六九一人	七七四円
六、社会労働施設費	五〇〇	二世帯当り二二〇一	四一円
七、衛生費	四九九	〃 二〇〇一	四〇円
八、産業経済費	三、八四一	農家戸数一七五二戸	三二一円
九、公債費	一、〇〇〇	一世帯当り二、一〇一戸	八一円
一〇、諸支出金	三、八八四	〃	三三四円
一一、その他	八一〇	〃	五六円
予備費、財			
産費、邊、善費			
計	三八、九八六	〃	一八、五五五
			三、一四六円

歲
出

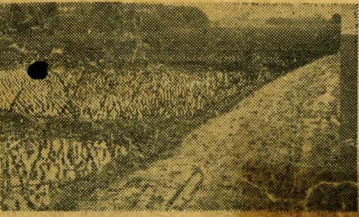
一	議會費	一、二〇〇
二	役場費	三九、二
三	消防費	一、六
四	土木費	五、八
五	教育費	二四、五
六	社会及び労働施設費	一、三
七	保健衛生費	一、三
八	産業經濟費	九、九
九	財産費	〇、〇五
一〇	統計調査費	〇、三
一一	邊差費	〇、八
一二	公債費	二、六
一三	諸支出金	一〇、〇
一四	予備費	〇、九
合 計		一〇〇%

本態の教育運営に當つては、學校教育たると社會教育たるとを問はず地域社會の公正なる与論と實際を把握し特に町村合併の發足に當つて村內諸機關と緊密なる連絡のもとにその実現に努力したい。

- イ 公民館関係
- 1、中央公民館の建設計画
- 2、専任職員の設定計画
- 3、分館建設計画
- 4、視聴覚教育の充実

ロ 社会教育関係

1、公報の活用化
北浦村教委員名簿
教委委員長 高橋啓
副委員長 島次繁
委員 加納佐一 石崎靜
宮本福得



の繁盛と農林経済の充実に期さんとするものである。ことに於て農業委員会は本年度の事業として農地交換分合を実施することとした。農地交換分合の必要性は誰しも痛感していたが第一年度として村の南部繁昌中根地区三百町歩を実施することにした。

勿論本事業は関係耕作者及び村当局各團體の完全意見一致を見て本年度の重点事業として推進する訳である。推進委員会も構成既に村訓委員は区域内の権利者の二分

小沢 有吉	庄司 英美	斎藤 金雄	河野 敏雄	伊勢山 一郎	小島 勝二	宮本 三郎	店曲 誠二	塚原 莊助	柳町 久子	前田 清	辺田 行基	横瀬 幸四郎
原田 忠雄	大久保信雄	斎藤 福男	後谷 吉	高棚 兵勝	泉 春吉	郡司 長一	小貫喜壽	石橋 時壽	原 正衡	栗又 政義	人見 安爾	前田 宏三

町村合併により農業振興計画がこれまでと異つた新しい意義をおびて來ました。それは戦前戦後米が直接政府の統制に置かれ今尚統制の下に置かれておりますが新しい集荷方式に變つて集荷指定業者が生産者佃たの理解を求めて予約していただき政府の需給計画に必要な數量を集荷することになり今までの強制供出がなくなつたので御座います。

元より政府としては統制については是非が論議されておきます事は新聞紙上で周知の事と思ひます。政府は本年度の予約制度が良成績をおさめれば來年度の米制度を実施する事のもじりになりましようが一明あやまれば、海外の各獨情勢から見て世界的に農産物が相対的に過剰生産であり滞貨がますます大きくなつて価格も低落して來ているので低廉なる食糧の輸入は必然的のものであると思致致します。

斯様な情勢下に有りますので今後違からず統制の枠がはずされる事は目を見るより明らかなであります。

かかる情勢下にあるので來る可き恐慌に備えて農業振興計画を樹立するに就か目下の急務でありますが村と致しましては山荘、武田川の流域に沿つ水田は氾出地であると共に年々河川狭小の急降雨時には水害を免れない状況であります。これら両河川の改修をする事により水害防止と氾出改良の一石二鳥の事業が貫徹するのであります。

又広汎なる大地は畑の連続で郡内隨一の農産物の生産地でありますが、年々旧地区に於て産業道路の改修をして來たようでありましたが、遅々としては總括的改修であつたのであらなとして生産物搬出の爲の重要産業道路の重点改修改良を致す事によつて産業の曲期的発達を期せられるわけであります。

これ等価格事業を年次計画により実施したいと思ひます。

本年度事と致しましては山田川の堰の新設、老朽橋梁の改修並に重要産業道路の重点改修、土木事業で御座います。

厚生課長 石橋正道

須賀	加納	塙	助川	根田	浦村道路改良委員 會委員長	員の氏名は左の通りです。	北浦役場にて結成され、 良基本方針を決定して、 になりまし。	浦村道路改良委員會は七月二十一日
光尾	佐一	孟	正一	与一	氏名			委員
原	小治	額實	石橋勝之助	前田良雄	庄司英美	方汲見邦道	石上禎晃	齋藤武雄
四平	一郎	成田	久保	柳川清吉	齋藤彌一	茂木堅吾	宇佐見武	齋藤
		伊勢山良治	河野精一	壽				

						津濱支團	石上正二
						山田第一分団長	成田清四郎
						山田第二分団長	関利徳
						山田第三分団長	額賀保
						繁昌分団長	根田嵩
						吉川分団長	真家正
						中根分団長	
						要支團	
						戸方分団長	椎名重
						小幡分団長	泉武雄
						南高岡分団長	金田弘藏
						北高岡分団長	石橋正道
						武田支團	
						西宿	内田潯

常務委員
副〃
委員

醍醐隆賢
稻田藤兵衛
岡里八郎

五十野司
河原勘市
兄玉宣孝
原正哉
宮内義光
本戸いね
磯山茂
田谷ふじ

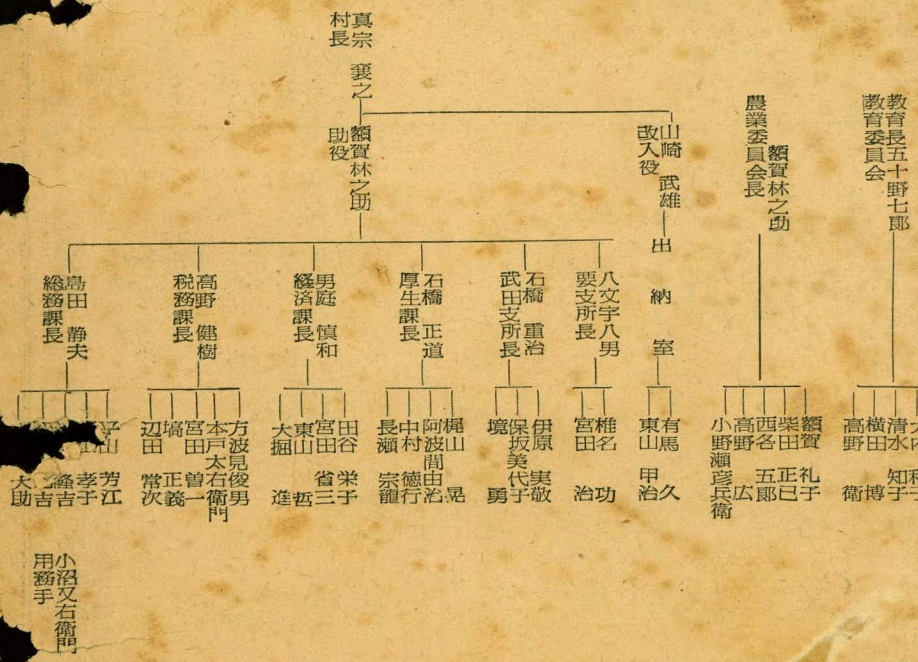
高柳昇
田久根博
青木静雄
山根よね
高橋勇
松信義貞
柳川清吉
原藤吉

大宇吉川 方波兒郷道
繁昌 茂司堅吾
中根 英美
山田 斎藤彌市
行戸 前田良雄
小幡 柳川清吉
北高岡 石橋勝之助
齋藤英郎
西宮 須賀剛雄

す。各区は区長を主体として区独自の事務も処理することになりますので相協力し益々発展されますよう期待いたします。

区長さんの紹介

昭三十・八・一現在



したが御期待通り歩がでない。それには理由がある。村議会議長の御挨拶にもある通り合併によって浮き金も直ちに御負担の軽減となり道路も耕地も立派になり御期待の実現するものはお数年後の事だろうとのことです。それは新村五カ年計画が計画通り実現して初めて「北浦村」となることができることだと考えられる。皆様は協力一致新村の実現に邁進されますよう御指導御協力を願います。

◇皆豫て望みの村公報が新村計画のいつばいの予算の中から少額ではあるがしぼられて第一号がでたことは何といつてもうれし。

◇これも村の理事者のなみなみならぬ努力で生れたその御苦勞を皆様と共に感謝いたします。

◇先日村長さんから合併制度に主にあつたよう公報を発行してはよお声がかかりであつたのであれこれと計画はしたことが限られたり出しでは充分なる村政計画の全般にわたつては時局氣味の感あつてなんだか物へりないもの

